

センター通信

第4号 平成17年3月

千葉県内水面水産研究センター

〒285-0866 佐倉市臼井台 1390

TEL 043-461-2288 FAX 043-460-1340

「里山フォーラムINちば」で試験養成したホンモロコの試食販売！



同フォーラムメイン会場での主催者挨拶



ホンモロコの売り場風景
(好評によりほぼ完売しました)

里山に関心を持ってもらう「里山フォーラムINちば」が1月23日、市原市民会館で開かれました。当センターでは、木更津工業専門学校・内水面漁業協同連合会・養老川漁業協同組合と協同で「里山の水辺」のブースを開設しました。

このブースでは、パネルによる養老川の紹介やホンモロコの養殖から甘露煮作製までの紹介、三面護岸水路での水生生物の復元実験の様などを展示しました。さらに「ちば淡水魚」の紹介で、水槽を持ち込み生きた魚も展示しました。

試食販売では、養老川漁協によるコイやアユの甘露煮、ニジマスの燻製に加えて、新たに内水面魚連が県委託によりホンモロコの甘露煮の試食と試験販売を本県で初めて実施し、多くの方々から好評を得ました。

このホンモロコの甘露煮は、今後「道の駅」などで地域の産品として販売を試みるとともに、養殖規模の拡大から消費拡大をはかり、千葉県内水面養殖業の特産品を目指し取り組む計画を立てています。

ホンモロコの甘露煮を目にされたときは、ぜひ試食してみてください。

平成16年度成果報告会が開催されました

当センターの平成16年度成果報告会が3月15日に同センター内研修室において開催され、資源環境研究室から4課題、養殖研究室から4課題の計8課題が報告されました。

報告会には、当センター職員その他、水産局内の5部所から11名が参加し、報告内容について討議しました。

資源環境研究室からのアユ及びウナギの資源に関する研究については、天然資源の利用に向け基礎的な研究



担当者による課題発表風景

を積み重ねる必要性を確認しました。また、印旛沼の魚類相の変遷については、データの蓄積が大切な研究であるが、期間を区切ってデータをまとめ、調査方法を見直しながら実施してゆくことなどについて討議しました。

養殖研究室からのホンモロコ、ウナギ、イワトコナマズの養殖・種苗生産の報告については、実用化に近いレベルのものから基礎研究のレベルのものまでがあり、実用化に向け問題点に取り組むこと、コイヘルペスウイルス病については、検査体制の充実により蔓延防止に努めることなどが討議されました。

組織改革により、内水面水産研究センターとしての成果報告会は今回で終わりとなりますが、来年度からも内水面水産研究所において研究した成果について報告会を開催し、各所の意見を取り入れ、以後の研究に役立てたいと考えております。

参 考

成果報告会発表課題名（発表順に列記）

養殖研究室

- 1) 休耕田を活用したホンモロコ養殖
- 2) コイヘルペスウイルス病キャリアー魚の検出方法について
- 3) ウナギ種苗生産について
- 4) イワトコナマズの養殖について

資源環境研究室

- 5) 夷隅川潮止堰における稚アユの来遊実態
- 6) ウナギによる遡上アユの被食の実態
- 7) 印旛沼の魚類相の変遷
- 8) 利根川下流域における下りウナギの出現様式

お知らせ

当「センター通信」は第5号より「内水研通信」と名称を改めることになりました。今後ともご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。